

ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進

●到達目標

- かかりつけ歯科医を持っている者、かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者：増加<各ライフステージ>
- 8020を達成した者：増加<高齢期>
- 進行した歯周病を有する者：減少、喪失歯のない者・24歯以上ある者：増加<成人期>
- 歯肉に炎症所見のある者：減少<学齢期>
- 甘味飲料をほぼ毎日飲む者：減少、ゆっくりよく噛む習慣づけをしている者：増加<乳幼児期>
- 糖尿病や喫煙が歯周病のリスクであることを知っている者・デンタルフロスや歯間ブラシを週1回以上使用している者：増加<高齢期・成人期>
- フッ化物配合歯磨剤を使用する者：増加<高齢期・成人期・学齢期>
- う蝕のない者：増加<乳幼児期・学齢期>

●これまでの取組

- 口腔ケアの推進に関する講演会等の実施
- 区市町村が独自に企画し実施する保健医療施策に関する支援
- 成人等歯科健診、歯科健康教育・相談等の実施<区市町村>
- 学校歯科健診、歯科保健教育・相談等の実施<区市町村、教育庁>
- 乳幼児歯科健診、歯科健康教育・相談等の実施<区市町村> 等

●目標達成に向けた新たな取組の方向性

【30年度新規事業】

- 各ライフステージにおける口腔ケアの重要性について普及啓発を実施（口腔機能維持・向上講演会）

【31年度以降に実施する取組】

- 各ライフステージにおける口腔ケアの重要性について普及啓発を実施
- 8020達成のためには、より若い世代からの予防が重要であることから、青年期を対象として、歯科保健に関する行動を充実させるための普及啓発を実施
- 歯肉に所見のある者について中学校・高等学校進学時に増加するが、原因が不明確であり、その支援策について検討することを目的に、私立学校も含めた実態調査を実施
- 成人期・高齢期において指標として使用している項目について、診療所受診者に対する調査結果を使用していることから、次期計画改定に向けて診療所受診者以外の状況について把握していく

かかりつけ歯科医での予防管理の定着、医科歯科連携の推進

●到達目標

- かかりつけ歯科医を持っている者、かかりつけ歯科医で定期健診又は予防処置を受けている者：増加<各ライフステージ>（再掲）
- 障害者施設利用者のうち、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受ける者の割合：増加
- 周術期口腔ケアにおける医科歯科連携を行っている歯科診療所：増加

●これまでの取組

- かかりつけ歯科医の普及や、口腔ケア推進に関する講演会等の実施
- 周術期口腔ケアに関する研修等の実施 等
（対象：歯科医療従事者、都民）

●目標達成に向けた新たな取組の方向性

【30年度新規事業】

- 周術期口腔ケアにおける病院側の取組について実態が不明確であるため調査を実施し、病院側へのアプローチの方法について検討
- 周術期口腔ケアの取組が進んでいない地域に対し、重点的に普及啓発を実施

【31年度以降に実施する取組】

- 新たに定義付けした「かかりつけ歯科医の機能」を歯科医療従事者、都民に正しく理解してもらい、かかりつけ歯科医の定着を推進

地域で支える障害者歯科医療の推進

●到達目標

- 障害者施設利用者のうち、かかりつけ歯科医で定期的に歯科健診を受ける者の割合：増加（再掲）
- 障害者施設等で定期的な歯科健診を実施している割合：増加
- 障害者に対応する歯科診療所：増加

●これまでの取組

- 東京都立心身障害者口腔保健センターにおける重度・難症例の心身障害児（者）の歯科診療の実施
- 同センターにおける障害者歯科に関する研修会の実施（歯科医療従事者、医療従事者、介護職員、都民等）
- 都保健所における市町村、障害者施設等への支援
- 区市町村が実施する障害者施設等における口腔ケア推進に関する支援
- 心身障害者（児）に対する歯科健診、歯科健康教育・相談等の実施＜区市町村＞ 等

●目標達成に向けた新たな取組の方向性

【30年度新規事業】

- 障害者施設や障害者施設利用者に対して、地域の歯科診療所での受診に関する課題等の抽出のため、アンケート調査を実施

【31年度以降に実施する取組】

- 地域の歯科診療所において障害者歯科の取組が進むよう、受け入れに関する課題、専門性の高い歯科医療機関へつなぐための連携方法や、障害者施設、区市町村との連携方法等について検証
- 地域の歯科診療所等に対し、上記の検証結果やアンケート結果に基づく効果的な支援策を実施
- 障害者施設に対して、定期的な歯科健診と全身の健康の影響等について普及啓発を実施

在宅療養者のQOLを支える在宅歯科医療体制の推進

●到達目標

- 在宅医療サービスを実施している歯科診療所：増加
- 介護保険施設等で定期的な歯科健診を実施している割合：増加

●これまでの取組

- 在宅歯科医療に関する研修会の実施（対象：歯科医療従事者）
- 摂食嚥下機能支援に関する研修会の実施（対象：歯科医療従事者、都民等）
- 在宅訪問診療において使用する設備整備に対する補助
- 区市町村が実施する摂食嚥下機能支援や、介護保険施設等における口腔ケア推進に関する支援

●目標達成に向けた新たな取組の方向性

【30年度新規事業】

- 歯科診療所向けに在宅歯科医療についてのアンケート調査を実施し、調査結果に基づいた普及啓発を実施
- 在宅療養者を支える家族や介護職等が、口腔内の状況に関心を持ち、適切に歯科医療機関につなげるよう、普及啓発を実施

【31年度以降に実施する取組】

- 新たに開設する歯科診療所に対して、在宅歯科についてのアプローチを実施
- 介護保険施設等において定期的な歯科健診が実施されるよう、普及啓発を実施

30年度新規事業の概要について

ライフステージに応じた歯と口の健康づくりの推進

- 介護施設等向けに、口腔機能維持・向上に向けた講演会を開催
日時：平成30年12月16日（日曜日）
会場：歯科医師会館（千代田区九段北四丁目1-20）
内容：歯科医師による講義、歯科衛生士による実技指導（お口の体操）等を予定
対象：介護施設職員、都民等

かかりつけ歯科医での予防管理の定着、医科歯科連携の推進

- 周術期口腔ケアにおける病院側の取組について実態が不明確であるため、調査を実施し、病院側へのアプローチの方法について検討
・がん診療を実施している病院を中心にアンケート調査を実施
- 周術期口腔ケアの取組が進んでいない地域に対し、重点的に普及啓発を実施
・周術期口腔ケアを行うきっかけとなる導入者向けの研修を、周術期口腔ケアを行う歯科診療所が少ない地域において重点的に実施（1年度当たり2圏域で実施予定）

地域で支える障害者歯科医療の推進

- 障害者施設や障害者施設利用者に対して、地域の歯科診療所での受診に関する課題等の抽出のため、アンケート調査を実施

在宅療養者のQOLを支える在宅歯科医療体制の推進

- 歯科診療所向けに在宅歯科医療についてのアンケート調査を実施し、調査結果に基づいた普及啓発を実施
アンケート項目：在宅歯科医療を開始したきっかけ、有効であった事例や先駆的な取組、在宅歯科医療を行う上での疑問や問題等
普及啓発：事例集を作成し、歯科診療所等へ配布
- 在宅療養者を支える家族や介護職等が、口腔内の状況に関心を持ち、適切に歯科医療機関につなげるよう、普及啓発を実施
・介護職等向けに、口腔内の気づきのきっかけとなるチェックシートの配布や、講演会を実施（講演会は、1年度当たり4圏域で実施予定）